

2025年度 第1回 介護・医療連携推進会議 報告書

日 時: 2025年7月16日(水) 14:05~14:25

場 所: あっとホームひかわ 食堂

参加者: 出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

利用者

斐川生協病院院長

介護事業部部長

介護事業部副部長

定期巡回かざぐるま主任

介護事務

司 会: 書 記:

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ①利用状況報告
- ②事例報告
- ③残されている課題について
- ④質の向上にむけて
- ⑤苦情、アクシデント等

III. 質疑応答

Q,独居ですが、老健を退所されたのは理由がありますか？

A,本人様の自宅での生活がしたいという思いからでした。

Q,ヘルパーさんが帰られた後、「寂しい」と言われることも多くあるとありますが、それでもご自宅で過ごしたい気持ちがありますか？

A,ご自分が生まれ育った家のため、自宅で過ごしたいという気持ちが強くあるようです。

Q,老健入所中にポータブルトイレのバケツ破棄の練習をし、今もご自分で破棄されているということですが、破棄できるようになられたのですね。

A,帰りたい気持ちが強いいため、入院中に頑張って練習されていたそうです。

Q,時期的に暑い時や寒い時は娘様も離れて暮らされていて、ご心配ですね

A,そうですね。定期的に訪問し、様子を伺っていかうと思います。

IV. その他

・定期巡回は、訪問に行つて、一対一で対応するため判断を要求される職種だと思います。不安や心配なことは相談することが大事になっていくと思います。連携を取りながら利用者様の暮らしを支えていきましょう。

・他事業所との情報共有など課題があると言われますが、時間の変動や本人様のご希望に沿ってされていることに助けられている方は多いと思います。

(利用者より)

・私は、目が不自由ですが、職員さんが気を遣ってくださることが良くわかります。こちらに入居し、夫と一緒にいますが、時々他の家族が遠くにいるため寂しい気持ちになることもあります。でも日々、職員さんと話すことで、安心して過ごすことができていて、ありがたいです。